

保谷小教育目標
すすんで学ぶ子
助け合う子
元気な子

保小だより



NO. 461 8・9月号 西東京市立保谷小学校

令和2年8月24日

保谷小ホームページ <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>

日常の生活が豊かになる2学期に

校長 野崎 信行

いつもよりも早い2学期の開始となりました。例年と違って制約のある夏休みでしたが、それでも子どもの心は少しゆったりできたのではないのでしょうか。

ところで、私にとって7月は保谷小学校の子どもの素晴らしさを感じる出来事がありました。7月から全校朝会を校内放送で始めました。私の講話で、「あいさつは『魔法の言葉』であること。挨拶には、大きな声で挨拶をする人、おじぎをしながら挨拶をする人、笑顔で挨拶をする人、挨拶をした後に話しかける人、立ち止まって挨拶をする人、会釈をする人などいろいろな仕方があること」を伝え、挨拶が得意な人も苦手な人も挨拶をして他者とよりよい関係をつくっていきましょうと話しました。

すると、翌日から登校時に校門にいる私に対して、以前よりもそれぞれのスタイルで挨拶をする子どもがかなり増えました。とっても嬉しく思いました。

また、終業式の出来事です。終業式も校内放送で行いました。放送室には、1学期に頑張ったことを発表する3年生のクラス代表が集まってきました。1学期に成長したことや、学んだことについてマイクを持って堂々と発表する姿を見て感動しました。さらに、放送室に近い6年1組や4年の教室から大きな拍手が聞こえてきました。通常よりは短い40日間の1学期でしたが、子どもたちはしっかり成長していることを実感しました。

そして、今日から2学期が始まります。3密をさける等の「学校の新しい生活様式」が続きます。例年行われてきた学校行事や校外活動など教育活動が中止になったり、規模を

縮小して実施したりするようになります。いつもよりも変化の少ない学校生活になりそうです。

4月、5月の非常事態宣言の中での私達の生活は、自由に出かけることができず変化の少ない日常の生活を過ごされたことと思います。しかし、家の掃除に励み、きれいになった状態を見て達成感や成就感をもたれた方がいらっしゃるのではないのでしょうか。また、普段つくらない料理に挑戦したり、親子で料理をしたり、可能な範囲で新たなことに挑戦して充実感を得ようとしたことと思います。

2学期の学校生活も制約がある学校の生活が続きます。変化の少ない日常の学校生活でも考えが高まっていく充実感、友達から認められる充実感を大切にするとともに、保護者から認められる充実感も得られる場を設定していきます。例年のように盛大にはできませんが、運動会を体育大会として、音楽会を音楽学習発表会として、日常の学習発表の場にします。また、密を避けるために学校公開ができませんので、ホームページ上で子どもの学習の様子を伝えていきます。

「過去と他人は変えられないが未来と自分を変えられる」という格言があります。コロナ禍の状況はなかなか変えられないが、それぞれがやり様を工夫すれば未来と自分はよりよく変わっていくと信じています。日常の取り組みを工夫して、子どもたちが大いに活躍、成長していける2学期にしていきます。

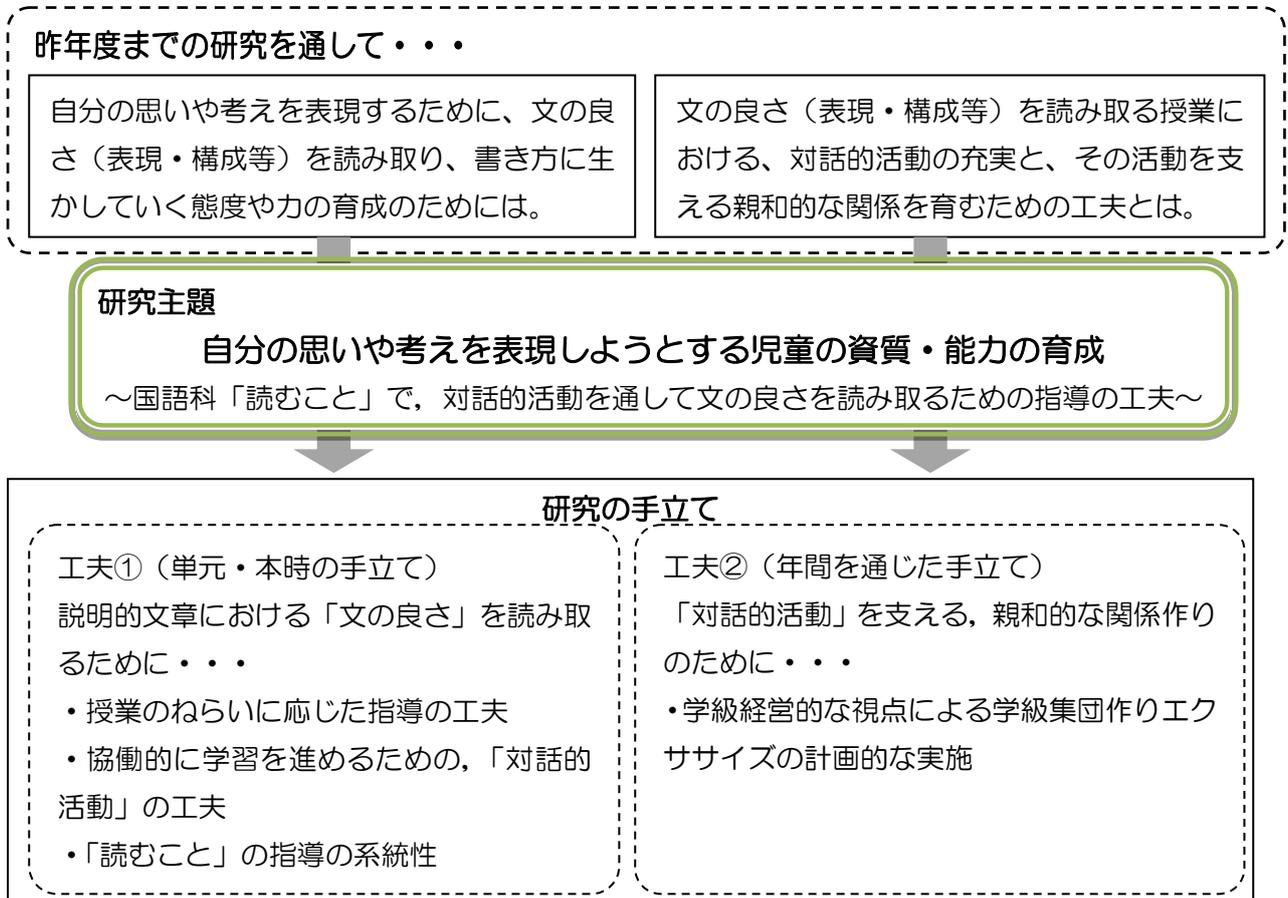
引き続き地域、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

今年度の校内研究について

昨年度までの保谷小学校の校内研究では、「書く力」を高めることに重点を置いて取り組んできました。その中で書く力を高め、自分の思いや考えを表現するために、まず文の良さ（表現・構成等）を読み取り、書き方に生かしていく態度や力の育成が必要ではないかと考えるようになりました。

そこで今年度は、昨年度の内容を踏まえ、次のように考えています。

○令和2年度 校内研究 研究構想図



子どもたちがすすんで「読みたい」・「考えたい」と思える授業の工夫を通して、自分の思いや考えを表現できるようになることを目指して、今年度も校内研究に取り組んでいきます。

校内研究の取組について 6年生

6年生では、対話的活動を通して説明の根拠や効果に気付ける子を目指して研究を進めています。

7月に行った説明文についての意識調査では、説明文の学習が楽しいかどうかの問いに72%が肯定的な回答をしていました。「友達と話し合いをして、意見を深め合うのが楽しい」「データや事例から、新しい発見がある」などの意見が見られました。28%の肯定的でない児童の意見としては「文章構成や筆者の意図について、読み取りや説明するのが難しい」や「筆者の考えを読み取るのが苦手」などと、文章構成の理解が難しいといった理由が特に多く、説明文という構造そのものに苦手意識を感じている児童が少なからずいるようです。

高学年となり、説明文の内容や構成も複雑化しており、ペア、グループ、全体交流などねらいに応じた対話活動の時間を設けることで、児童が自分の考えに自信をもち、考えを深めていけるようにしていきたいと考えています。

7月の研究授業「筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう」では以下のような手立てで学習を進めました。

工夫① 良さを検討させる課題

4つの事例それぞれのなかで共感できる事例を選ばせ、なぜその事例が共感できるのか検討させる

ことによって、事例の妥当性や説得力など「文の良さ」について考えを深めさせました。

工夫② 選択させる課題

全ての児童に考えをもたせるために、まず筆者の考えに「共感する」か「共感しないか」を選択させ、自分の立場を明確にさせてから理由を考えさせることによって、自分の知識や経験と結び付けながら自分の考えをもつことができると考えました。

【授業の様子】

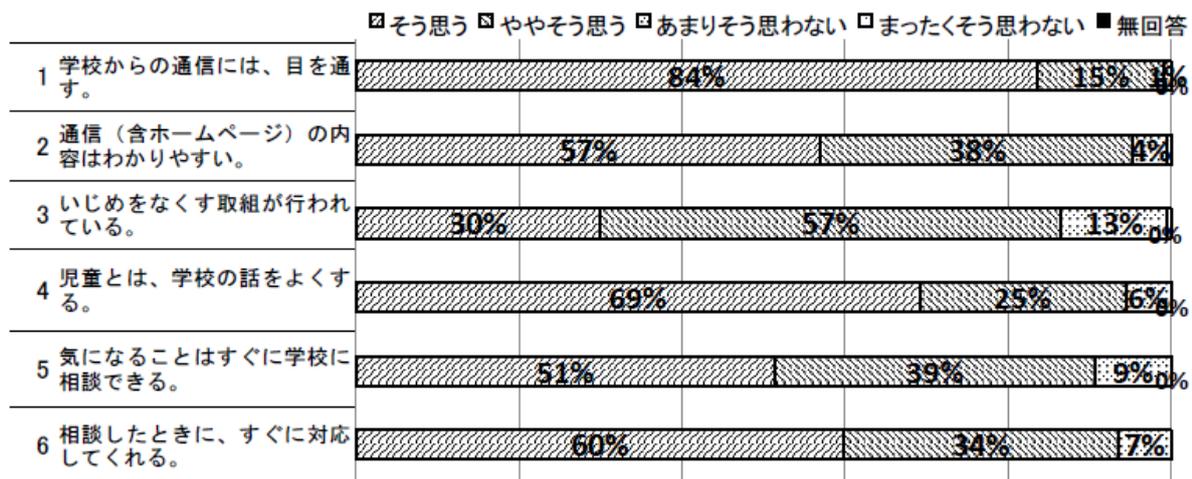
★個人情報保護のため、紙面とは一部内容が異なります。ご了承ください。

保護者による学校評価

今年度はメールでのアンケートとさせていただきました。ご多用の中、学校評価アンケートに多数のご協力をいただきましてありがとうございます。集計結果をお知らせいたします。

令和 2 年度 1学期 学校評価アンケート集計結果

西東京市立保谷小学校



感染症対策として学校の新しい生活様式の定着を図りながらの1学期でした。学校公開や行事等の実施ができず、評価項目も例年よりも絞らせていただきました。評価項目全体の肯定的評価（そう思う・ややそう思う）は93%でした。全般的に高い評価をいただいておりますが、各項目に「そう思わない」に回答された方々がいることを真摯に受け止め、2学期以降、一人一人の児童、保護者の皆様に寄り添った丁寧な教育活動を実践していきたいと考えております。

今後とも、家庭・地域・学校との協力・連携を大切にして学校運営を進めていきますので、ご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

道徳授業地区公開講座について

学校の道徳教育は、子供たちが人としてあるべき姿を自覚して、一人一人がよりよく生きるための基盤を築くことを目指しています。保谷小学校ではこれまで保護者の方や、地域の方の大きな協力のもと、道徳教育を進めることができました。9月19日に全クラスで道徳の授業を行います。コロナ感染の影響で、参観はできませんが、ホームページで授業の様子を紹介する予定です。(授業のめあて、当日の板書、活動の様子(写真)や児童の発言や感想など)

道徳授業地区公開講座のお知らせ

9月19日(土)の講演会は、コロナ感染の影響で体育館での開催が困難です。そのため、後日、別の形でお聞きできるように調整しております。詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。

行事予定

8・9月 行事予定表					
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
24	月	始業式 4時間授業	12	土	
25	火	4時間授業	13	日	
26	水	給食(始) 5時間授業	14	月	全校朝会 クラブ活動 眼科検診(全)
27	木		15	火	内科検診(4~6) 尿検査1次追加日 特別時程7時間授業(4~6) 特別時程6時間授業(1~3)
28	金		16	水	特別時程6時間授業(1~6)
29	土		17	木	耳鼻科検診(全)
30	日		18	金	
31	月	全校朝会 5時間授業	19	土	土曜授業(授業公開なし) 4時間授業 道徳授業地区公開講座(3時間目)
1	火	避難訓練	20	日	
2	水	安全指導 特別時程6時間授業(1~6)	21	月	敬老の日
3	木	発育測定(5) 個別学習(始)	22	火	秋分の日
4	金	発育測定(3)	23	水	4時間授業
5	土	土曜授業(授業公開なし)	24	木	
6	日		25	金	特別時程7時間授業(4~6) 特別時程6時間授業(2・3) 特別時程5時間授業(1) 保谷タイム(1)
7	月	全校朝会 委員会活動 発育測定(4)	26	土	
8	火	尿検査1次	27	日	
9	水	特別時程6時間授業(1~6) 発育測定(6)	28	月	全校朝会 6時間授業(3~6)
10	木	発育測定(2)	29	火	内科検診(1~3)
11	金	発育測定(1)	30	水	特別時程6時間授業(1~6)

◎9月から特別時程7時間授業が開始します。

◎土曜授業は公開なしです。

◎各学年だより、令和2年度年間行事予定(8月21日時点)は、ホームページにも掲載しています。